

石川県鍼灸師会報 '16.3 第4号

いしかわけんしんきゅうしかいほう 公益社団法人石川県鍼灸師会



写真：平成 27 年 10 月 25 日 「子育て支援メッセいしかわ 2015」

〈 目次 〉

1. 平成 27 年度臨時総会
 2. 学術講習会
 3. リスクマネジメント講習会
 4. 普及活動
 5. その他
 6. 投稿寄稿
 7. I S T からのお知らせ
- あとがき

1. 平成 27 年度臨時総会

公益社団法人石川県鍼灸師会

平成 27 年度臨時総会 議事録

場所：石川県地場産業振興センター 新館 5 階 13 研修室

日時：平成 28 年 3 月 6 日（日）

午前 9 時～午前 10 時 30 分

会員総数	55 名
出席者	23 名
委任状出席	24 名
定 款	18 条の定足数充足により総会は成立
議 長	橋本昌治
議事録署名人	金谷由久 山下竜司
議事録作成人	中村智彦

議 事

第 1 号議案 平成 28 年度事業計画（案）の件

- ・会長が各部事業案を説明しました。

第 2 号議案 平成 28 年度予算（案）の件

- ・予算報告 上野誠一郎財務部長が説明しました。

第 3 号議案 定款改正の件

- ・定款第 40 条改正の件について決議されました。

第 4 号議案

- ・種々協議されました。



2. 学術講習会

(公社) 日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川

場所：神奈川県横浜市みなとみらい パシフィコ横浜
日時：平成 27 年 10 月 31 日（土）～ 11 月 1 日（日）



県民公開講座「活力の正体は自律神経!？」

松田 朗

11月1日（日）13時～14時半、県民公開講座「活力の正体は自律神経!？」の講座を拝聴いたしました。



メイン会場の様子です。講義が始まると撮影禁止でした。
講義の内容は、北関東循環器病院院長 南 和友 先生によります、「活力の正体は自律神経!？」という題で、第二の心臓と言われる、ふくらはぎの筋肉を動かす運動（パワーウォーキング）の行ない方などの講義でした。
自分の年齢にあった脈拍を維持しながら、ウォーキングをするのですが、歩き方も、カカトか

ら入り、つま先で押し出す感じでウォーキングをすることで、しっかりとふくらはぎを動かすことを意識させることが重要だそうです。

私も、なるべく意識をしながら歩くように心掛けたいと思います。

トリガーポイントの基礎と実技

日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）

場所：石川県地場産業振興センター

トリガーポイント鍼治療

福嶋 進

・痛みとは

不快な感覚的 情動的体験である

慢性の痛みは原因より痛みを止めることが大切

慢性化の原因は筋肉が関連した痛みが多い

痛みを感じている部位と原因となる筋肉が同じ場合と一致しない場合がある

・トリガーポイントの特徴

索状硬結が有る

圧痛

関連痛

ジャンプサイン など

・トリガーポイントの診断・治療

筋肉を触る

索状硬結を押す

トリガーポイントに刺鍼する

姿勢筋にはトリガーポイントが存在しやすい

トリガーポイントの検索は触診が大切である

刺鍼後はトレーニングも大切である

・まとめ

今後の鍼灸治療に取り入れて 痛みに対する治療の武器にしていけたらと思います。



学術講習会に参加して

松田 朗

12月20日、学術講習会「トリガーポイントの基礎と実技」が石川県地場産業振興センターで開かれました。

講師はメディアにも取り上げられたこともある、明治国際医療大学教授の伊藤和憲先生でした。先生はまず、トリガーポイントの解説の前に、急性・慢性の痛みに関する講義を住宅火災に例

え分かり易く解説されました。

急性期の痛みですと、痛めた部位を治療すればおおよそ完治しますが、鍼灸院に来られる患者さんは病院などを転々と渡り歩いて、それでもなかなか改善せずに来院される方が多いかと思えます。

そうなりますと、日数が経過しているため慢性期に移行してしまっている例がよくあります。慢性痛には鍼灸が効果的とはいえ、どのように施術を進めればよいかは、いろいろな手法があり悩むところであります。

そこで、トリガーポイントへの鍼灸施術が一つの手法として昨今注目されているようです。私はこの言葉は耳にはいたしますが、何となく圧痛点を指すのかな？と思っておりましたが、単なる圧痛点とは異なり、索状硬結、症状の再現、局所単収縮反応などのポイントがあることを初めて知りました。

臨床に役立てるにはかなりの熟練が必要になると思いますが、非常に興味深い講義でありました。

気を調整する「接触鍼法」基礎と実技

日時：午前 10 時半～12 時

場所：石川県地場産業振興センター新館 5 階第 13 研修室

講師：公益社団法人全日本鍼灸学会常務理事 津田 昌樹先生

学術講習会 気を調整する接触鍼 基礎と実技

上野晃一

平成 28 年 3 月 6 日、石川県地場産業振興センター新館 5 階第 13 研修室にて臨時総会に続いて行われた学術講習会「気を調整する接触鍼 基礎と実技」に参加しました。

講師を務められたのは(公社)全日本鍼灸学会 常務理事にして今年度より当会の会員となられた津田昌樹先生です。

講習内容は接触鍼の歴史や津田先生が所属されている東方会の成り立ちから始まり、終末期医療における疼痛緩和治療の症例報告、疼痛緩和治療の意義、臨床の際に気を付けることなどについて詳細かつ明瞭に、なおかつスピーディーに教えていただきました。

病院に勤務された経験をお持ちの津田先生による終末期医療での疼痛緩和に関するお話はエビデンスやデータに基づいた、施術者が終末期の患者さんに対して治療する際の心の支えとなる大変に素晴らしいものでした。

また「鍼灸によって疼痛が緩和しても医師による投薬は継続すべき」ということは当初意外感を禁じえませんでした。津田先生の説明により至極もつともなことだと納得しました。

津田先生自身の失敗談も交えた講習はとても面白く、こうしてレポートを書く立場を得なければ果たしてどの程度記憶に留められたか不安になるほど密度の高いものでした。

引き続き実技講習も行われ、津田先生自身による実演と会員の希望者に対して指導していただきました。

「若い方優先で」との津田先生からのリクエストに多くの会員が一步身を引いてしまったのは色々印象深かったです。

事前に津田先生より「侵襲刺激は少なくてもドーズは少なくない」と説明があった通り、ほんの数か所の施術で患者役を務める会員の皮膚の状態がみるみる変わっていく様子を目の当たりにして接触鍼の優れた効果が実感できました。

また津田先生自身が考案された「鍼の響きの学習法」も大変合理的かつ興味深いものでした。他にも鍼の材質や角度による効能の違いについて、皮膚の状態の診かた、効果的な取穴の方法などについても実演とともに教えていただきました。

「鍼は刺すもの」「難しそう」という先入観などにより敬遠しがちな接触鍼でしたが、今回の津田先生の講習によりこれまでよりもずっと身近な臨床の手段として感じられるようになりました。

素晴らしい講演をしてくださった津田先生に心から感謝いたします。

学術講習会に参加して

松田 朗

3月6日、石川県地場産業振興センターに於いて、臨時総会後に学術講習会「気を調整する『接触鍼法』の基礎と実技」が開かれました。

講師は公益社団法人全日本鍼灸学会にて常務理事を務めておられる津田昌樹先生でした。

津田先生は、経絡学会（東方会）の会員で、その施術の一つであります「接触鍼法」について講義をされました。

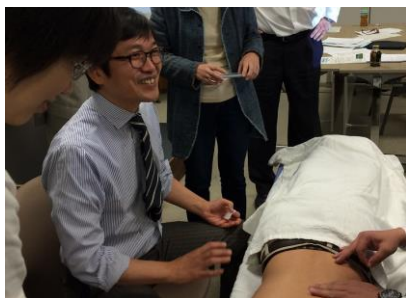
私はこの「接触鍼法」の術を拝見するのは初めてでしたので、非常に興味深く受講させていただきました。

施術は必ず接触鍼法を行なうという事ではなく、病には「気の病」と「血の病」があり、気の病の時に接触鍼法を行うとの事でした。

私も実際に施術者側として体験させて頂きましたが、力を抜き、リラックスしなければ得氣を得られないとの事でした。

なるべくリラックス状態になりますと患者と私の押手に触れている部分がジワリジワリとしたものが伝わるように感じました。

患者の気を感じながら施術をするということの重要性を教えて頂いたように思います。



3. リスクマネジメント講習会

オータムセミナー「認知症」

日時：平成 27 年 10 月 18 日（日）午前 10 時 30 分～午後 16 時 30 分

場所：金沢勤労者プラザ

第 1 部：「認知症に対する対応と最新治療について」

講 師：高田真裕美先生

（金沢脳神経外科病院 作業療法士）



第 2 部：「認知治療に対する擦過鍼治療について」

講 師：吉村春生先生

（大阪府鍼灸師会理事 （有）吉村鍼灸院院長）



オータムセミナー「認知症」に参加して

松田 朗

10月18日(日)、金沢勤労者プラザにて、オータムセミナー「認知症」が開かれました。

午前の部では、金沢脳神経外科病院にて認定作業療法士を務められる高多真裕美先生による認知症講座「認知症を理解する」が行われました。

医療が進歩したことで平均寿命が伸びたと同時にますます認知症患者が増加すると懸念される昨今、地域レベルでのサポートがより重要になるとの事でした。

それにはまず認知症に対する正しい知識と対応の仕方が必要になります。鍼灸師として、また人として、身近の認知症患者にいかに対応できるかが問われると思いました。

午後の部は、大阪府鍼灸師会理事を務められる吉村春生先生による「地域包括ケアシステムと鍼灸師～改革の中身と対応の方法 予防の重要性と擦過鍼」という演題で、鍼灸師として関わりの深い講義内容でした。

小児鍼の大人用といったもので、大阪府鍼灸師会が独自で考案された器具を使用して患者の皮膚を刺激します。

実際に体験させていただきましたが、体が少しポカポカする感じで気持ちの良いものでした。このような刺激で認知症患者のケアができれば、鍼灸治療に新たな道が開けると思いました。

4. 普及活動

子育て支援メッセいしかわ2015

日時：平成27年10月25日(日)

場所：石川県産業展示館4号館

子育て支援メッセに参加して

本間 光里

10月25日(日)、子育て支援メッセいしかわ2015が石川県産業展示館で開催されました。

石川県鍼灸師会は親子スキンタッチ教室として、ブースにてお子さんの健康相談やスキンタッチの実技を指導しました。

スタッフとして上野誠一郎先生、富田あゆみ先生、上野晃一先生、松田有里先生、中村智彦先生、松田朗先生、金谷由久先生、そして私が参加しました。

沢山の先生方のご活躍でブースは盛り上がり、楽しく充実した場となりました。

午前10時から夕方16時まで絶え間なく、総勢200名を超える子供達と家族の方々がブー

スに足を運んでくださりました。会場はにぎやかで明るく、とても良い雰囲気でした。

私は先生方からスキントッチの手法に留まらず、お母さん方の悩みをどう聞き出したらよいか、どう接したりしたらよいか、など本当に多くのことを学ばせて頂きました。

ブースに来てくださったお母さん方と接すると、お子さんを育てるお母さん方は、日頃いろいろな悩みがあり、困っているという現実を改めて実感しました。

ブースを訪れたお母さん方は、そんなさまざまな悩みに対し何か手だてがあるということに初めの内は驚かれながらも、スタッフの先生たちの説明に熱心に耳を傾けていました。

そしてスキントッチが家にあるスプーンや歯ブラシで行える手軽な健康法であることを知ると、実際のやり方の説明を受けながら子供に行ってみて、その反応を確かめていました。

やり方が正しいかどうかを、教わり、説明を聴き、実践しているときの懸命なお母さん方の姿がとても印象的でした。

最後になりますが、当日応援に駆けつけてくださった、定池会長、前山先生、山崎先生、本当にありがとうございました。



金沢マラソン2015

IST (石川県スポーツトレーナー連絡協議会)

約430名の方が治療に来られました。

当会からは定池先生、橋本先生、中村智彦先生、寺本先生、本間先生、上野誠一郎先生が参加されました。

日時：平成27年11月15日(日)

場所：金沢市内



第 5 回 J I M T F U ベーシックコース研修会

日時：平成 28 年 1 月 10 日（日）、1 月 11 日（月・祝）

場所：独立行政法人 国際協力機構 東京国際センター（J I C A 東京）

J I M T E F 災害医療研修会報告

定池 寿

第 5 回 J I M T E F 災害医療研修会ベーシックコース・第 4 回 J I M T E F 災害医療研修会アドバンスコースの報告をいたします。

第 5 回 J I M T E F 災害医療研修会ベーシックコースは平成 28 年 1 月 10 日と 11 日の二日間で行われました。会場は、J I C A 東京（独立行政法人国際協力機構東京国際センター）講堂で行われました。

参加者は、全国から医療従事者（日本鍼灸師会・日本理学療法士協会・日本臨床心理士会・日本作業療法士協会・日本柔道整復師会・日本栄養士会・日本言語聴覚師会・全日本鍼灸マッサージ師会・災害鍼灸マッサージプロジェクト・日本臨床工学技士会・日本あん摩マッサージ指圧師会・一般）114 名の他業種からの参加があり、災害医療に対する関心の高さが感じられました。

プログラムとしては、座学とグループ研修があり、毎年少しずつ内容が変更されています。今回は、茨城県常総市の水害時に行われた災害医療を参考に研修が行われました。

初日は、「災害医療概論」「東日本大震災・東京電力福島第一原発事故に対する医療対応」「急性期に各職種として何が出来るか」「避難所運営ゲーム HUG」、二日目は「亜急性期～慢性期に各職種として何が出来るか」「災害医療の実際～常総の水害～」と多様なプログラムです。

災害医療概論では、救急医療と災害医療の相違について基本的な研修が行われました。災害医療は「現有する人員・医薬品・資機材で最大限の患者を救命する」救急医療は「現有する人員・医薬品・資機材は原則として全て使える」との相違があり、災害医療では、「適切な傷病者を適切な時間内に適切な病院へ搬送する」3R「S」と3T「S」が大切で、世界では、C S C A T T T「指揮・安全・情報・評価・トリアージ・治療・搬送」が大切である事を学びました。

グループミーティングとして、急性期に各職種で何が出来るかを、話し合い会しました。印象に残っているのは、「避難所運営ゲーム HUG」で、静岡県危機管理部がゲーム形式で考えた避難所カードゲームです。避難所を運営するシュミレーションゲームで、避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事象が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験します。瞬時に対応する難しさを体験できました。

二日目は、亜急性期～慢性期に各職種として何が出来るかを、グループミーティングで行い、鍼灸師もここから係る事が出来るのではないかと思います。常総市の水害で、理学療法士協会、日本栄養士会、日本鍼灸師会の対応が紹介され、ディスカッションが行われ、終了いたしました。

大変有意義な二日間で、災害医療は、地域包括システムにも関わる大切な事であると感じました。

第 4 回 J I M T E F 災害医療研修アドバンスコースは、平成 28 年 2 月 21 日にベーシックコース同じ会場で行われました。参加者はベーシックコース修了者で 52 名の参加がありました。プログラムとしては「国際人道支援に学ぶ支援方策」「災害医療コーディネート」「本部運営と記録」「次の災害に備えて」「本部運営実習」「JDR（国際緊急援助隊）の災害医療活動」とより実践に応じたものです。

グループディスカッションでの「次の災害に備えて」では、テーマ別に

- ① 政からの活動要請を取り付けるために必要なことは何で、それをどのように行うか？
- ② 活動にあたり、どのような情報が必要で、それぞれ、どこで収集するか？
- ③ 地域における災害において、日本〇〇会と地域〇〇会はどのような関係で活動するか？
- ④ 合同対策本部内で、活動する場合、どのような立場で、誰の指示に従って動くか？
- ⑤ 合同対策本部内で、活動する場合、多職種連携として、どのようなことが可能か？

を話し合いました。

「本部運営実習」では、シュミレーションで本部の運営体験を行いました。朝のミーティングから夜のミーティングまでの本部の流れ、災害派遣チームの振り分け、避難所の把握、直接我々鍼灸師がリーダーになるわけではありませんが、焦る・時間が過ぎる・何をしたらよいのか、本部運営の難しさと、記録の大切さを実感できる貴重な経験をいたしました。

J I M T E F 災害医療研修を終えて、災害医療において、鍼灸師は何時から、どのように参加出来るかを考えたくて研修会に参加しましたが、多職種との連携の大切さと、何時からではなく、初めから係ることの重要性を実感いたしました。

石川県鍼灸師会として、平成 28 年度事業から毎年 1 人は、J I M T E F 災害医療研修会に参加して頂くようにいたしました。一人でも多くの会員が研修を終え、災害医療の担い手になって欲しいと思っております。将来的に石川県と災害医療の協定が出来れば良いと考えています。会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



NPO 法人ぴあサポート定例研修会

「健康長寿のために」

NPO ぴあサポートからの依頼で、視覚障害者及びボランティアの方々に対しての健康セミナーを行ないました。

日時：平成 28 年 2 月 21 日（日） 午後 13 時～15 時

会場：金沢福祉用具情報プラザ 2 階研修室

講師：（公社）石川県鍼灸師会学術部長

ぴあサポート副理事長

光井 峰生先生

内容：健康な生活を送るために役立つツボや体操の話を行ないました。

また、質疑応答の時間を多く取り、各自が行っている健康法なども紹介していただきました。

東京マラソン 2016 鍼灸ボランティア活動の視察

日時：平成 28 年 2 月 28 日（日）

場所：東京都内

東京マラソン 2016 視察

定池 寿

2 月 28 日に行われました、東京マラソン 2016 「ランツボ・はりケアステーション」（東京都鍼灸師会主催）を視察してまいりました。当日は、午前 10 時にゴール地点である東京ビックサイト東館 6 ブースに集合し、スタッフミーティングから参加いたしました。東館 6 ブースは、ランナーの更衣スペースです。また、東館 6 ブースには、足湯スペース、スポンサーのトレーナーブース、東京都柔道整復師会のブース、第 2 柔道整復師会のブース、救護ブースがありました。

東京都鍼灸師会では、3 回の事前研修会を学生も含め研修を行い、東京マラソン財団にスタッフ登録を行っております。ビックサイト東館には、事前に登録されたスタッフ（AD カード配布者）のみ入場できるシステムで、登録者以外は西館のみ出入りできるようになっています。東京ビックサイトは、大変広くて入り口から東館まで 10 分程度徒歩でかかります。

当日、スタッフは 120 名程でそのうちの 40 名程が学生でした。ベッドが 20 台あり、20 チームに分けて、チーム内でローテーションを行います。学生は、主に受付とチームの補佐に回ります。治療は、パイオネックス 0.3 と zero のみで、一人 6 個迄と決められ、一人所要時間を 10 分以内で施術を行います。また、外国人ランナー用のカルテも用意してありました。事前研修会でも英語の研修を行っているようでした。

スタートから 2 時間 30 分位経った頃から、ランナーが東 6 ブースに集まり始め、「ランツボ」ブースのスタートです。さすがにサブスリーのランナー（3 時間以内に完走）は元気な様子で歩

いていますが、サブフォーのランナー（4時間以内に完走）からは足を引きずりながら歩いてケアを受ける人が多くなりました。施術部位もほとんどが下肢中心になっていました。スタッフは、笑顔で対応していました。

広大な更衣スペースである東 6 ブースも、4 時間を過ぎると一杯になり、「ランツボケアステーション」も大盛況でした。外国人も含め 1000 人を超えるランナーが利用しました。

パイオネックスのみでの施術ですが、ランナーは満足していただけのように思います。

今後、石川県鍼灸師会でスポーツボランティアを行う場合の良い経験となりました。機会があれば、会員皆様に体験を含め、研修を行いたいと思います。

最後に、機会を与えてくれました東京都鍼灸師会会長高田先生をはじめ、役員の皆様に感謝申し上げます。



5. その他

平成 27 年度忘年会

日時：平成 27 年 12 月 19 日（土）

会場：金沢市 割烹 魚常

平成 27 年度忘年会に参加して

大内 康弘

平成 27 年 12 月 19 日（土）19 時 30 分より並木町の割烹 魚常にて、忘年会が催されました。

翌日行われる学術講習会にて講師を務められる伊藤和憲先生をお招きし、会員 20 名が参加しました。

伊藤先生は、明治国際医療大学教授並びに明治国際医療大学京都桂川鍼灸院院長を務めておられます。

伊藤先生を交えて、当会の先生方との話も弾み、大変和やかでした。

加えて、ビンゴゲームや、尾坂副会長の段だら（輪島の伝統芸能）などで宴席を大いに盛り上

げて頂きました。

最後に、ご多忙な中駆けつけて下さった当会顧問の田中博人前県会議員の力強い激励のお言葉を頂きました。

平成 28 年度も会員各位が希望を抱き矜持を持って業務に励もうと奮起を促し、一本締めをして解散しました。



新春餅つき大会

日時：平成 28 年 2 月 7 日（日）午前 10 時～

場所：山崎はり・灸治療院（むらさき庵）

新春餅つき大会

山崎 稔晃

毎年恒例の新春餅つき大会が 2 月 7 日癒しのいっぷくむらさき庵(山崎はりきゅう治療院に隣接)に於いて行われました。

初めに健康祈願、家内安全等を祈願し、当会会員に加えて患者様や地区の青年団の方々（70～80人）にも参加していただき、もち米 30 キロでお餅をつきました。

松田先生や中村智彦先生はさすがに若く力餅です。それに対して尾坂先生はさすがにいぶし銀の杵さばき、技ありでした。

小豆あんこ、きな粉餅、大根おろし等、お餅はつき放題食べ放題。他にけんちん汁や豚汁、外のテントではで青年団が焼き牡蠣や焼き肉、ホルモン等をみんなで美味しくいただきました。

天気にも恵まれ、楽しい一日でした。参加された皆様、有難うございました。



石川県医師会「石川県医療推進協議会並びに医療安全研修会」

日時：平成 28 年 2 月 16 日（火） 午後 19 時～20 時 45 分

場所：石川県地場産業振興センター新館 1 階 コンベンションホール

石川県医療推進協議会とは、石川県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、石川県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化を目指し、積極的に諸活動を推進することを目的とした団体です。

この協議会には、石川県の医療団体などで構成されており、当会はその構成団体の一つです。

富田 あゆみ

今回参加をしましたのは、協議会の理事でもある定池会長をはじめ、光井、上野（誠）、富田、田中、寺本の 6 名です。

第 1 部の協議会では、加入団体の紹介、現状報告として医療における適切な財源の確保についての説明等がなされました。

第 2 部の医療安全研修会では、「医療事故調査制度における院内調査について」と題して、日本医師会医療安全対策委員会副委員長の上野 道雄先生のご講演がありました。ここでは、医療事故調査制度とその制度の現状等の説明をされた上で、福岡県医師会の医療事故に対する取り組みと事例を挙げられました。医療事故調査の基本は、一つの直観（先入観を）に捉われず、直観（疑問）を幅広く集めて究明すること、既存の視点を変えて未知の病態を探ることであると繰り返し述べておられました。そして、事故の原因解決には、看護日誌が不可欠であり、ある事故調査で看護日誌の記録により先入観に捉われず正しい調査結果をだすことができた事例も加えて述べられました。

この御講演のあとは、石川県医師会 医療事故調査支援委員会から現状報告がありました。「石川県における支援体制と主な支援内容について」と題して、石川県医師会理事、佐久間 寛先生からご説明がありました。

この研修会で、看護日誌が正しい調査結果を出す事ができた事例を伺い、我々鍼灸師も医療事故対策として、カルテの記載は重要と改めて思いました。



6. 投稿寄稿

輪 島 段 駄 羅

○ 来る年も

世知辛いよと
(せち《おせち》からいよ)
節 辛いよと

若夫婦

作 尾坂 昌彦

○ 日にちに

願以比功德
(がん いし くとく)
癌 医師 口説く

難治症

○ 今宵また

忘年会と
(ぼう ねんかいと)
坊 寝んかいと

父急かす



7. I S T からのお知らせ

I S T 講演会

J I S S (国立スポーツ科学センター)
 スポーツ科学研究部 栄養グループ
 石井 美子先生

演 題：「アスリートの栄養サポート～強い選手をつくる～」

日 時：平成 28 年 4 月 3 日 (日) 午後 2 時～午後 3 時半

会 場：医療法人社団光仁会 木島病院体育館
 金沢市松寺町子 4 1 - 1

※体育館ですので、内履きをご用意ください

募集対象：栄養に興味のある方

参加費：3,000 円 (受付時お支払いください)

申込〆切：平成 28 年 3 月 28 日 (月)

連絡先 & お申込み先は、下記メールまたは F A X にてお申し込みください。

sfutaba@lilac.ocn.ne.jp F A X 0 7 6 - 2 5 3 - 8 7 7 8



IST 講演会

石川県スポーツトレーナー連絡協議会 講演会

平成 28 年 4 月 3 日(日)

会場：医療法人社団光仁会 木島病院体育館
 金沢市松寺町子 41-1
 JISS(国立スポーツ科学センター)
 スポーツ科学研究部 栄養グループ
 石井美子先生

参加自由 参加自由です。 募集対象 栄養に興味のある方

参加費 3,000 円(受付時お支払いください)
 ※体育館ですので内履きをご用意ください。

演 題 『アスリートの栄養サポート～強い選手をつくる～』

講演会時間 午後 2 時～午後 3 時 30 分

申込〆切 平成 28 年 3 月 28 日 (月) 参加者確認のため必ず申込ください。
 連絡先 お申込み先 下記メールまたは FAX にてお申し込みください。
sfutaba@lilac.ocn.ne.jp FAX 076-253-8778

あしがき

先週、兼六園の早咲きカラミザクラが一足早く満開となり、春本番ももうすぐそこまで来ているようです。

当会は、一昨年から昨年までの2年間にわたり、専門領域研修のリスクマネジメント研修会を定期的開催してまいりました。研修会は医療事故を防ぐことを目的としています。ここで得られた知識や技術は、社会に安心して安全な鍼灸の普及と貢献を積極的に進めていくためのベースになり、今後のスキルアップに役立つと思います。

来年度は、地域包括ケア活動の一環として介護予防運動指導員養成講座を開催します。5回の受講後に試験を受けて合格すれば介護予防運動指導員として活動できます。これによって、地域支援事業の他に地域包括ケアシステムの中への参入がより容易になります。

それから、地域包括ケア活動に関わるもう1つの事業として(公社)国際医療技術財団が主催するJIMTEF(災害医療研修会)の講座に毎年1名以上を派遣いたします。地震大国日本は、ここ21年の間に阪神淡路大震災、新潟中越地震、能登半島地震、新潟中越沖地震と東日本大震災の5回もの大災害を体験しました。今後は災害医療において鍼灸師として積極的に関わっていく努力をすることが重要になります。

当会として、今後も積極的な鍼灸医療の普及とその有効性の啓発に繋げるために会員の先生方への更なるご理解とご協力をお願いします。

会報に対するご意見、ご感想などございましたら広報部までお寄せ下さい。会報作成にあたり、原稿依頼に快く応じて下さいました皆様に心からのお礼を申し上げます。

今後とも広報活動に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

広報普及部 部長 富田 あゆみ

発行 (公社) 石川県鍼灸師会

会長 定池 寿

〒920- 石川県金沢市戸水1丁目458フロイデ105号

TEL (0761) 24-0369

担当 広報普及部

編集部長

富田あゆみ

編集委員

定池 寿

・ 金谷由久

中村智彦

・ 上野晃一

大内康弘

・ 松田 朗